

グリーンランドの記録的な大雨が地球にもたらすもの



今月の3日間、グリーンランドでは70億トンもの雨が降った。これは1950年の記録開始以来、最大の量である。また、グリーンランドの最高峰に雪ではなく雨が降ったのは、それ以来初めてのこととなった。グリーンランド氷床は、南極大陸に次いで地球上で2番目に大きいため、そこに雨が降ると氷の融解が加速することとなる。8月15日までに失われた氷の量は、通常の8月中旬の7倍となっている。グリーンランドの融解は、気候変動を緩和するための人類の努力を大きく妨げる恐れがある。

記事参照：What Greenland's record-breaking rain means for the planet - ArcticToday (2021.8.25/Arctic Today)

→The U.S. Coast Guard icebreaker Healy departs Seward, Alaska on August 25, 2021, embarking on a voyage that will include a transit of the Northwest Passage. (John Farrell / U.S. Arctic Research Commission)

北西航路を通過する航海に出発した米国の砕氷船



米国沿岸警備隊の砕氷船が、珍しい北西航路の通過、科学調査、カナダとの北極海での共同演習を含む北極圏での長期にわたる任務に就いた。米国沿岸警備隊は、科学的調査を行うと同時に、乗組員を訓練し、競争が激化する地域で存在感を示すことを目的としている。

記事参照：US icebreaker departs on a voyage that will transit the Northwest Passage - ArcticToday (2021.8.26/Arctic Today)



地滑りの影響でアラスカの デナリ国立公園が一部閉鎖



アラスカの主要な旅行地のひとつであるデナリ国立公園の大部分が、山の斜面の過度の融解による地滑りの活動が活発化し公園の唯一のアクセス道路が危険な状態になったため、夏の観光シーズンを数週間早く終了した。公園管理者は声明の中で「気候の変化により凍った地面の融解が進んでいる」と述べ、92マイル(148km)のアクセス道路の中間地点であるプリティ・ロックスでの土地の移動の速さを「公園道路の歴史の中で前例がない」と表現した。

記事参照：Landslides have prompted a partial closure of Alaska's Denali National Park - ArcticToday (2021.8.26/Arctic Today)

商船三井／北極海航路に世界 最大級の浮体式LNG貯蔵設備



商船三井は9月2日、ロシア運輸省傘下の国営リース会社であるPublic Joint-Stock Company “State Transport Leasing Company” (GTLK) と、ロシア・カムチャッカおよびムルマンスクでのLNG積替基地案件（プロジェクト）に関し、GTLKが100%出資するFSU(Floating Storage Unit、浮体式LNG貯蔵設備)保有会社に出資参画する方針について基本合意書を締結したと発表した。

記事参照：商船三井／北極海航路に世界最大級の浮体式LNG貯蔵設備 — 物流ニュースのLNEWS (lnews.jp) (2021.9.2/LNEWS)

スイスとデンマークの探検隊 世界最北端の島を発見



7月下旬、スイスとデンマークの科学探検隊「ライスター北グリーンランド2021」の5人のチームが、チャーターした小型ヘリコプターで島に上陸。1978年にデンマークの測地学者によって初めて目撃され、この種の島では最北端とされるグリーンランド北方の小島、ウーダップ・ケケルタア（ウーダップ島）に着陸したと確信していたが、パイロットの座標によれば、1978年にOodaap Qeqertaaとして登録された位置よりもはるかに沖合い、北側に位置していることがすぐにわかったという。

記事参照：Swiss-Danish expedition finds the world's northernmost island - ArcticToday (2021.8.27/Arctic Today)



Expedition leader Henrik Lassen explores what later turned out to be a previously uncharted island. (Christiane Leister)

気候変動によって ノースウォーター・ポリニヤ が崩壊の危機へ



イヌイットがPikialasorsuaqと呼ぶ、グリーンランドとカナダの間にある重要な開水域が、"かつてないほどの速さ"で変化していることが、新しい研究で明らかになった。前例のない速さで起こる変化は、ノースウォーター・ポリニヤ（科学者たちは「ナウ」と略している）から収穫される野生の食物に依存する先住民にとって深刻な脅威となると警告している。
記事参照：Climate change is driving the North Water Polynya toward collapse, study finds - ArcticToday (2021.8.18/Arctic Today)

調査隊、投棄から56年後に 原子炉を発見



ロシアの調査隊は、1965年にAmbrosimova湾に投棄されたソ連海軍の潜水艦K-19の破損した原子炉2基が入ったコンテナの場所を再発見した。原子力安全専門家Andrey Zolotkov氏は、原子炉を海洋環境から引き揚げて、安全な廃炉のための施設に持ち込む方法を検討するために、すぐにリスク評価が実施されることを期待している。

記事参照：Expedition finds reactors 56 years after dumping | The Independent Barents Observer (thebarentsobserver.com) (2021.9.2/The Barents Observer)

変化の風：グリーン産業が 若者の雇用を産み出す



ベルヴォーグはノルウェー北部の小さな町だが、カレン・ブリクセンが執筆した物語『バベットの饗宴』の舞台として世界文学に名を馳せている。北極圏のはるか北側に位置し、伝統的に小さな漁船が停泊して漁獲物を下ろしている漁村だ。現在、村人たちはベルヴォーグの産業構造を再構築し、グリーンエネルギー生産に向けた先端的拠点の中心となっている。ベルヴォーグの人口は、1976年のピーク時には1810人にまで増加したが、その後減少に転じている。現在、住民登録は928人とどまり、人口動態曲線は下降線をたどっている。しかし、新しいグリーン産業がそれを変えてくれるのではないかと期待されている。

記事参照：Winds of Change | The Independent Barents Observer (thebarentsobserver.com) (2021.8.23/The Barents Observer)



Kjølnes Lighthouse, Berlevåg, Varanger Peninsula, Norway

